

家庭と学校を結ぶ、保護者向け進路便り

はじめに

あっという間に今年も一ヶ月余りを残すのみになりました。「光陰矢の如し」とは、このことを言うのでしょうか。慌しさに紛れて、進路便り3号を出すのがこんな時期になってしまいました。お詫びします。

さて、3年生は指定校推薦入試・公募推薦入試・自己推薦入試等が始まり、いよいよ進路に向けての活動期に入ります。気候も日に日に厳しさを増していきますので、健康管理にはご注意ください。1・2年生は、体育大会を終え、後期の中間考査が迫ってまいりました。一年の3/4を過ぎようとしています。次の学年を念頭に置きながら、がんばってほしいものです。また、2年生は修学旅行も控え、忙しい年末になりそうです。

いずれにしても、それぞれがもう一度これまでの自分をふり返り、次のステップに臨んでくれることを期待しています。保護者の皆様方も、健康にはご注意ください。

『公募制推薦入試』・『大学入試センター試験』が、迫ってきました!!

いよいよ公募制推薦入試の時期になりました。公募制推薦入試は、もともとは現役生のために設けられた入試制度で、多くの大学は誰でも2教科で受験できます。一部、評定平均値のしぼりがある大学もありますが、ほとんどの大学は受験可能です。ただ、ここ数年様相の変化が見られます。

一つには、浪人生（主に一浪）も受験可能になってきたことで、受験者数が増加しています。浪人の場合は、ほとんどが「すべり止め」としての受験ですが、学習時間の確保から考えると、なかなか手強い相手です。現役生の場合は、どうしても本格的な受験勉強のスタートが遅れますから、公募制推薦の時期ではまだ伸びきっていないケースが多くあり、結果が伴わない例も少なくありません。

また、文科省が2年前から定員の厳格化を強く提示してきたことも懸念される一因です。定員の1.1倍以上を入学させた場合、助成金をカットするという通達がそれです。多くの私立大学にとって、国の助成金は大学を運営していく上で非常に貴重な財源です。それをカットされると立ち行かなくなるおそれもあります。その影響が公募制推薦入試の募集定員や、合格者数にも影響している可能性があります。

とにかく、公募推薦に向けては志望校の過去問題を多く解き、その大学の出題傾向を知ることが大切です。また、公募制推薦入試には、一般常識かと思われるような出題もありますから、普段からさまざまなことにアンテナを張っておくことも大切です。

さて、年が明けると大学入試センター試験となります。昨年より日程が1週間程度遅くなっていますので、まだまだ準備期間はあります。「現役生は年を越すと伸びる」といわれますが、全くその通りです。公募推薦で芳しくない成果であった受験生も、センターでは好成績をあげることがあります。これからの2ヶ月間が勝負の分かれ目です。体調管理に気をつけて、ご家庭でも最後のひと踏ん張りをさせてください。

2年生は、受験が一年後に迫ってきました。修学旅行が終わったら、気持ちだけでも受験生になってくれることを願います。大学受験の勉強はとにかく時間がかかります。少しでも早く取り組んだ者が有利になるのは当然のことです。ぜひ、1年前にさしかかっていることを意識してもらえればと思います。

また、2年生は「センター試験最後の受験生」となりますが、新テストで状況が大きく変化するとは思われませんので、安全志向ではなく、自分の進みたい大学・学部・学科の受験を念頭において、十分な準備をすることが大切だと思います。

1年生は、高校の授業を大切にしてください。入試の8割は高校2年生までの学習の範囲からの出題です。毎日の授業が将来のステージに繋がると考えてください。行事や部活動で忙しいでしょうが、予習・授業・ふりかえり（復習）のサイクルを守るようにしてください。

何はともあれ、寢屋川高校全体として、3年生のチャレンジを応援し後押ししたいと思います。

センター試験に向けての「国語」、確実に点数を取るために！

センター試験の「国語」は、200点満点です。現代文（評論・小説）100点、古典（古文・漢文）100点の配点です。内、現代文の漢字と語句の意味の問題で20点程度、古文の語句の意味と文法、漢文の漢字の意味で20点強。実に1/4～1/5程度の配点がここにありま。これらの問題は、授業で特別に取り上げる機会は少ない範囲です。つまり、自学自習できる出題です。センターの過去問題のこの部分を自分でどれだけやりきれぬかが、ある意味得点を左右すると考えられます。

本題の問題文ですが、評論は国語ができるだけでは読めません。社会・国際・哲学・環境・心理など、多岐に渡る文章が出題されます。ということは、さまざまな授業の中で培った経験や知識がものをいうということです。小説についても然りです。歴史的背景や、生活・習慣などの知識が必要になります。古文は鎌倉から江戸の作品の出題が多いように思います。それでも、平安期の文法や語句の知識が重要。漢文に至っては、漢字・基本的な句法・常識的な読む力などがあれば十分に正答できる問題が多いように思います。（余談ですが、これだけ漢文に力を入れている高校も珍しいです。）

「国語は何を勉強していいのかわからない」という声をよく耳にしますが、勉強の仕方は単純です。とにかく多読する。濫読する。分野を決めずにどんどん読む。ただ読むのではなく「読解する」ことが大切です。今日からできます。今すぐにできます。それが入試に直結します。（国語科：神原 実）

うちの子は…

（「PTA 進路委員」をお願いしている保護者のみなさまに、自分の子どもさんについて語っていただいた文章です。ナマの声をお届けします。）

今年の夏は例年になく厳しい暑さでしたが、娘はせっせと学校&塾のある寢屋川市へ通いました。

異例中の異例でも夏休みの頑張りで我が娘が劇的に学力UPしますように…と期待しつつ、私も目覚まし係とお弁当作りでサポートしました。付属高校に通う友人とあまりにも違う高3の夏休みの過ごし方に対し「ずるい〜」と羨ましがるときもありましたが、所属していたクラブの先輩に会った際、大学生活や1年前の受験勉強の生の声を聞いてやる気と勇気をもらう事ができたようです。また、理系・文系、志望校が違って友達どうしてこの勉強法は成績が上がった!! とかこの参考書はとて分かりやすかった!! など情報交換をしてる話も耳にしました。それはとても恵まれた環境だと嬉しく思いました。

そして、隣の友達はライバルという気持ちよりも一緒に合格しよう! 頑張ろう! 応援し応援されていると感じる話も耳にしました。

私も我が子だけでなく寢屋高71期生みんなの合格をいつの間にか願うようになっていきます。いよいよ、志望校でなく受験校を決める時期に入ってきます。体調に気をつけて、これから冬に向けてますます頑張りたいと思っています
(3年：Uさん)

おわりに

今年の冬は暖冬予想ですが、それでも寒さに慣れていないと体調を崩します。3年生はもとより、1・2年生も後期中間考査が近づいていますので、健康管理にはくれぐれも留意させてください。また、保護者の皆様もどうかご自愛ください。

なお、進路に関するご質問やご相談がありましたら、ご遠慮なくご連絡下さい。

072-821-0546（事務室に電話がかかります。「研究開発室へ」とおっしゃってください。）

文責：神原 実（研究開発室）